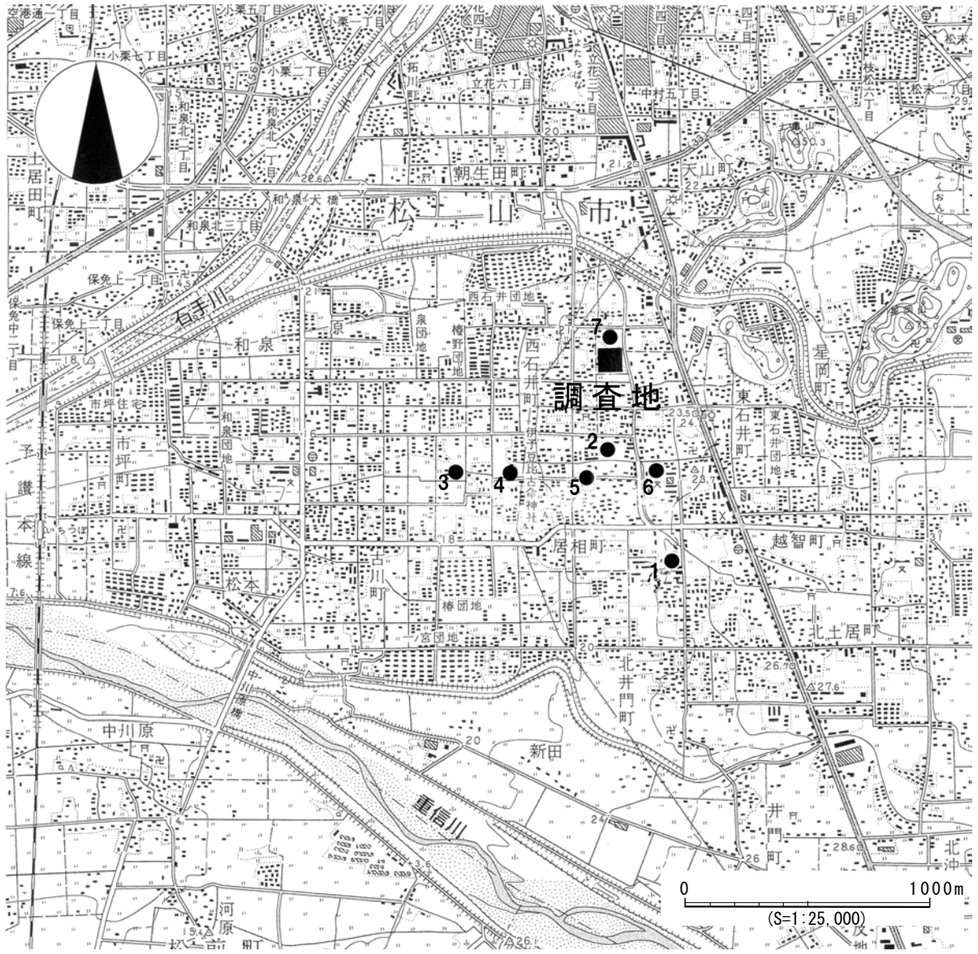
西石井（にしいしいいせき）遺跡５次調査現地説明会資料

財団法人松山市文化・スポーツ振興財団
埋蔵文化財センター



1 南中学校遺跡　2 石井幼稚園遺跡　3 西石井遺跡１次　4 西石井遺跡２次
5 西石井遺跡３次　6 東石井遺跡　7 西石井遺跡４次
■西石井遺跡５次（調査地）

図１　調査地と周辺の遺跡

西石井遺跡５次調査の概要

所 在 地　　松山市西石井１丁目７９番１・80 番１の各一部
調査期間　　平成 23 年１月 17 日～同年４月中旬（予定）
調査面積　　約 725 ㎡
調査主体　　（財）松山市文化・スポーツ振興財団　埋蔵文化財センター

１. 調査の経過

今回の調査は『包蔵地№.１１９』内における宅地造成に伴う発掘調査です。西石井町内では西石井遺跡として４回の調査が行われています。これらの調査では弥生時代から中世に至る遺構や遺物が見つかっています。今回の調査でも弥生時代から中世の遺構や遺物がたくさん見つかりました。

写真１：調査前風景（南より）

写真２：１区全景（北より）

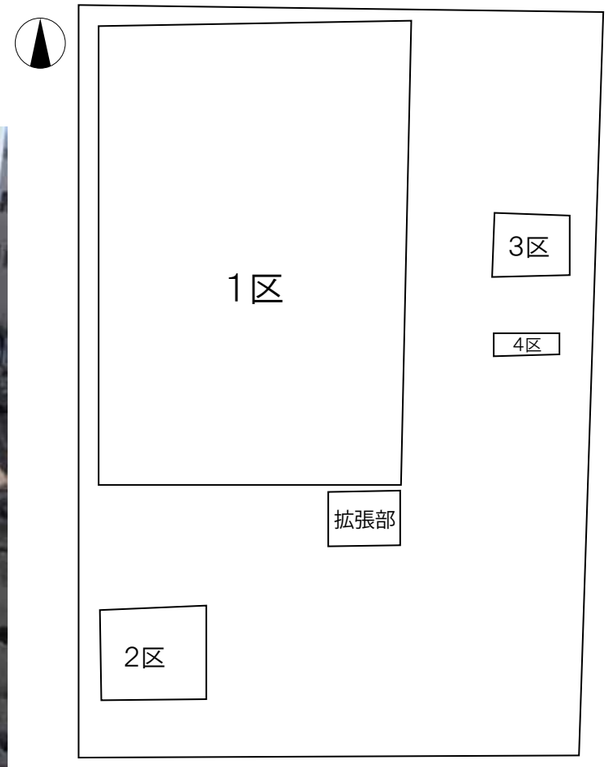


図２　調査区位置図

2. 今回の調査で見つかったもの（途中経過）

調査では竪穴住居 10 棟以上、掘立柱建物跡 2 棟、土坑 40 基以上、柱穴約 1000 基が見つかりました。
時代は弥生時代、古墳時代、室町時代と考えられます。遺物は弥生土器、土師器、須恵器、青磁や石製品、鉄製品などが出土しています。

写真３：祭祀跡 1001 古銭及び遺物出土状況（真上より）

室町時代

室町時代

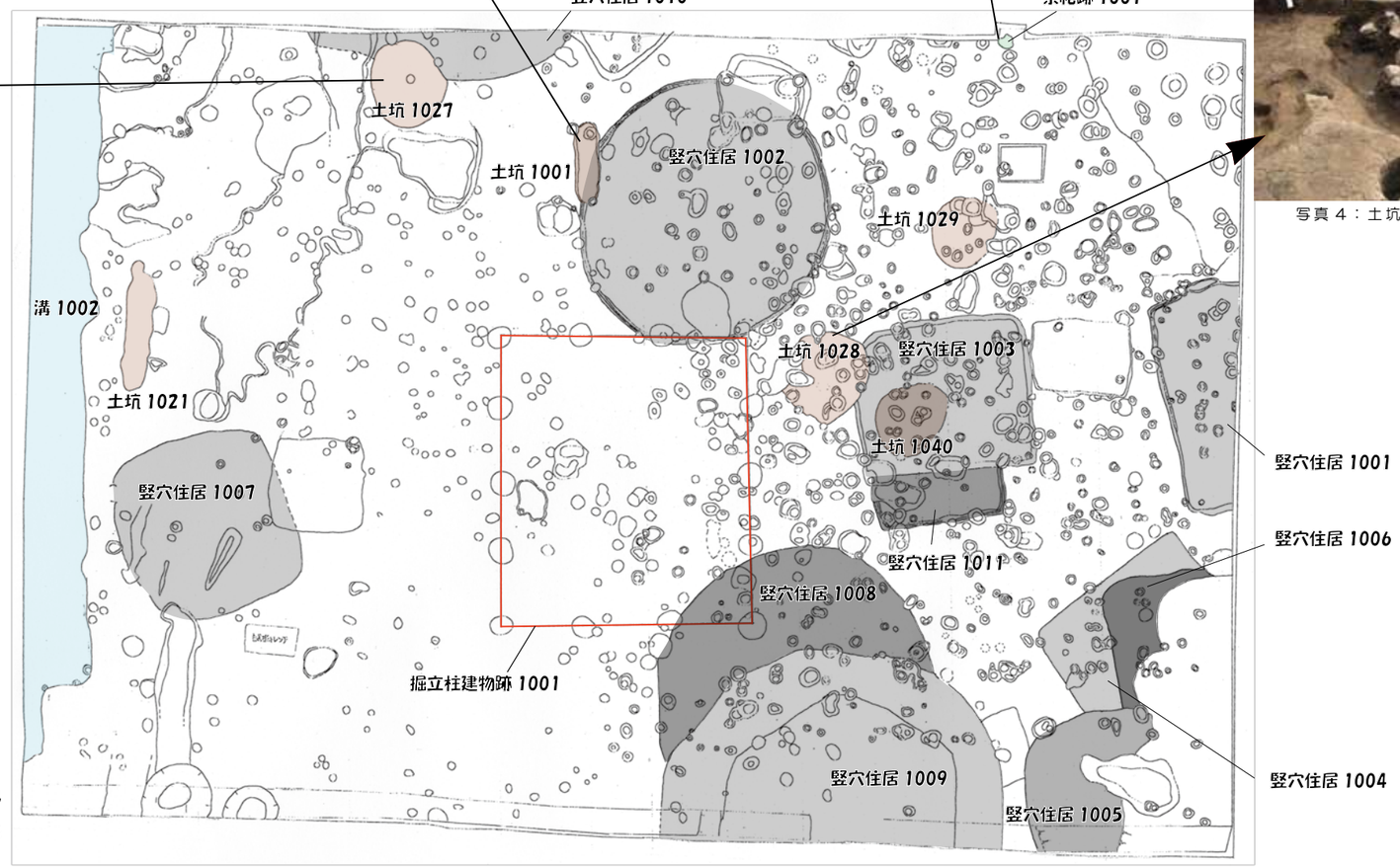
写真５：土坑 1001 遺物出土状況（西より）

弥生時代後期

写真４：土坑 1028 遺物出土状況（西より）

弥生時代後期

上　写真６：土坑 1027 遺物出土状況１回目（南より）
下　写真７：土坑 1027 遺物出土状況２回目（東より）



0　5m
(S=1:150)

図３　１区遺構配置図

【用語解説】

竪穴住居（たてあなじゅうきょ）・・・・当時の地表面から数十センチぐらいに掘り窪められたもの。平面形は方形、長方形、楕円形、隅丸方形などがあります。
炉は中央部や奥寄りに設けられます。古墳時代中期になるとカマドが設けられます。

土坑（どこう）・・・・・・人間が土を掘りくぼめてできたと考えられる穴です。

掘立柱建物跡（ほったてばしらたてものあと）・地面に穴を掘りくぼめてそのまま柱（掘立柱）を土中に立てた建物。
底部に板を敷いたり、小石や平石をおくものもあります。
掘立柱建物跡は通常、柱穴の規則的な配列として確認されます。

『1998 日本考古学用語辞典 学生舎』より